

受けましょう

がん検診



他人事ではありません

・日本人の約2人に1人が「がん」にかかると言われ、誰もがかかる可能性のある病気です。

自覚症状がない人こそ対象です

・無症状のうちに「がん」を早期発見し治療することが大切です。健康な人ほど受けて下さい。

早期発見、治療が「鍵」

・早期に治療すれば90%以上が治ります。
・毎年検診を受け、チェックしましょう。

がん検診は検診料の約2割の金額で受けられます！ **お得！**

- | | | | |
|---------|------|----------|------|
| ● 胃がん検診 | 900円 | ● 大腸がん検診 | 300円 |
| ● 肺がん検診 | 無料 | ● 喀痰検査 | 600円 |

※自覚症状がある場合は、がん検診を待たずに医療機関を受診しましょう
※裏面は検査方法やメリット、デメリットが紹介されています。よく読んでおきましょう



★ がん検診の目的は早期発見により、そのがんで死亡する可能性を減少させることです！

胃がん 40歳～

胃がんでの死亡は減ってきていますが、依然として日本人がかかりやすいがんです。胃部エックス線検査で、早期がんの発見も可能です。胃がんの死亡率が減少傾向にあるのは、検診によって早期に発見される確率が増えたからとも言われています。

肺がん 40歳～

日本人のがん死亡数1位です。胸部エックス線検査をします。喫煙が最大の危険因子であると言われていますが、喫煙しない方も肺がんになる可能性はありますので、油断は禁物です。

大腸がん 40歳～

食生活の欧米化や運動不足などにより、近年増加しています。便の潜血反応検査で手軽に受けることができます。日本人のがん死亡数が肺がんに次ぐ2位です。油っぽい料理が好きな人、便秘や下痢をしやすい人などは要注意！

※ 対象年齢は年度末年齢です。

【問合せ先】健康福祉課健康係 ☎52-1116

がん検診の主な検査方法

胃がん検診

胃エックス線検査：がん検診で行われる検査

◇造影剤のバリウムと胃を膨らませる発泡剤を飲み撮影し、胃の中の凹凸や形を観察します。

胃内視鏡検査：がん検診で「要精密」となった方が受ける検査

◇疑わしい部位を内視鏡（胃カメラ）で詳しく観察します。その際、細胞を採り悪性かどうかを診断することもあります。

大腸がん検診

便潜血検査：がん検診で行われる検査

◇便の中に血液が混ざっていないかを調べ、大腸内の出血の有無を調べます。

大腸内視鏡検査：がん検診で「要精密」となった方が受ける検査

◇大腸の中の小さな病変を見つけることができます。その際、細胞を採り、それが悪性かどうかを診断することもあります。検査の準備として、大腸の働きを抑える薬や鎮痛剤の注射が必要です。

注腸エックス線検査：がん検診で「要精密」となった方が受ける検査

◇大腸にバリウムと空気を入れて撮影し、がんやポリープがないか観察します。

肺（結核）検診

胸部エックス線と喀痰検査：がん検診で行われる検査

◇肺全体をエックス線で撮影。また、主に喫煙者を対象として、痰を採取し、がん細胞の有無を調べます。

胸部CT検査：がん検診で「要精密」となった方が受ける検査

◇疑わしい部位をCTで詳しく撮影します。

気管支鏡検査：がん検診で「要精密」となった方が受ける検査

◇気管支鏡を入れて、疑わしい部分を直接確認します。その際、細胞を採り、悪性かどうかを診断することもあります。

★がん検診受診後、精密検査が必要となった方は、必ず精密検査を受診するようにしましょう。

がん検診の目的は、早期がんの発見と早期治療で、がんで亡くなる方を減らすことです。

検診のメリット・デメリット

ここで勧めているがん検診は総合的にみて検診を受けるメリットがデメリットを上回るものですが、デメリットも考慮し両方を理解したうえで受診しましょう。

【メリット】

- ・健康な人からは早期がんが多く発見され、早期がんはそのほとんどが治り、しかも軽い治療ですみます。

【デメリット】

- ・100%がんが見つかるわけではありません。がんそのものが見つけづらい場所にあたり見つけづらい形である可能性があるからです。
 - ・がんがなくても精密検査や治療が必要と判定される場合があります。
 - ・ごく稀ですが、検査による合併症が起こる場合があります。
- ※ かかりつけ医のいる方は相談するなどしたうえで決めると良いでしょう。

